

令和6年度タウンミーティング懇談録（豊里会場）

日時：令和6年6月15日（土） 10:00～11:30

場所：老人福祉センターとよさと

参加者：市長 ほか 参加者10名

<懇談録>

○参加者1

私は今学生なんですけど、将来行政職に携わりたいと思っていて。理由から話すと、これまでこども未来センターと青い羽根学習会で、困窮世帯とかひとり親の支援をしてきたり、あと周辺市街地振興課と、あと参加者2さんの協議会とかと、「EAT and kami GO」とか上郷伝説の日に携わってきて、何か市民の困りごととか、その市民の思いを実現する行政職に携わりたいと思ったからです。そこで質問なんですけど、行政職員として一番大切だと思ってることとか、必要なことは何だと考えてますか。私は個人的に、先ほどあったように、ともに創るが共感して、というのも何だろう、現場を見に行ったり、市民と相談しないと、小さな困り事とか本当に困ってることに気付くかもわからないし、一緒に考えないといけないかなと思うからです。

●市長

はい、ありがとうございます。嬉しいですね、そうやってね、なかなか行政とかね、行政に対して前向きな気持ちを持ってくれてる人がいるのは嬉しいですし、ぜひ頑張ってもらえればと思いますが、私がとにかく大事にいつも職員に話をしてるのは、とにかく寄り添った対応をしようというのが、まず1点ですね。何か行政の職員をやっていると、いつの間にかやっぱり行政になってしまうわけですよ、ちょっと表現が難しいんですけども。でも市民はやっぱり困って相談をしてるわけだし、困って連絡をしてくれてるわけだし、そういうことを考えると、まずその気持ちを受け止めようよということを伝えています。その上で、2つ目、大事なのは、やっぱりどうすればできるかを考えようよということなんです。これもよく言うのは、別に法律のために市民がいるんじゃないよねとか、条例のために市民がいるんじゃないよねと。市民のために、法律があり条例があるんじゃないの。それがもしおかしいのであれば、それを変えるしかないんじゃないの。そこまでいかなくても、じゃあどういう解釈をすれば、この困り事は解決するの、みたいなことを話をしています。3つ目は、そういうことも含め

てやっぱり前向きに仕事をする人だと思います。文句をですね、言ったりですね、批判をしたりということを言ったり、何か市民を邪険に扱ったりなんてことは絶対あってはいけないわけですし、そういうふうの前向きに、自分の周りの職員も大切にしながら、チームで仕事を前向きにしてもらえるとということが、やっぱりすごく重要で、どれだけ例えば優秀であっても、周りとは協調できない職員の周りのパフォーマンスっていうのは圧倒的に落ちてきますので、そういう3つぐらいが、とても大事なかなと思ってます。ぜひですね、頑張って、つくば市にも関心を持ってくれてるということですかね。

●市長

いいですね。僕は残念ながらというか、もう採用には完全にノータッチなので、もう実力でどんどん上がってきてもらうしかないんですけども、ぜひチャレンジしてもらって。おかげさまでつくば市は、今倍率がまあまあ高い自治体になっていて、これぐらいの、要するに小さい自治体だと倍率がすごい高くなるってことは当然あるんですけど、つくば市ぐらいの規模にしては、結構倍率が高いので、それだけ注目をしてもらってるのはありがたいですけど、そういうね、思いを持った職員が1人でも増えればと思ってますので。はい、楽しみにしてますから。答えになっているでしょうか、大丈夫？今何年生なんですか？

○参加者1

4年生です。

●市長

4年生。じゃあもうすぐですね。この間申し込んだってことかな、じゃあ。

○参加者1

はい。

●市長

それ以上踏み込むとちょっとね、何かいろいろあれになってきますから、これぐらいにしときますか。はい、ぜひ御活躍をお祈りしています。僕は完全にノータッチなので残念ながら何もできないんですが、はい。思いのある人はきっと通ると思ってます。はい、ありがとうございます。

○参加者2

上郷でいろいろやってますけど豊里地区も数えながらいろんな活動してます。たくさん本当は質問あるんですけども…

●市長

いいですよ。なんか今日は余裕ありそうですから。よかったら1個ずつで。もうのんびりやりましょう。たまにはこういう日もいいでしょう。僕今日、午後もあるし。

○参加者2

1つは今一番大きい話題になってきてる陸上競技場の話なんですけども、いろんなところで御意見等含めて話が出てきてまして、2027年度にオープンというか、でき上がるという形になってますけれども、あの辺りを常に私は歩いてるわけなんですけども、どういった工事の日程になってるかというと同時に、周りの意見がどう集約されて、今何か交渉事が入ってるというふうには聞いてますんで、その辺を踏まえながら、やっぱりスムーズにいったり、ないしは周りの環境が良くなったりしながら、安心して安全な工事日程と、要はオープンという形になると思うので、直近の話でいいんですけれども、目標は目標、直近の話でどんなレベルに今なっているのかちょっとわからないので、その辺がもしわかるのであれば御説明いただきたい。

●市長

はい、かなり例えば道についてもどの道通そうかみたいな、そういう細かいところまでしてるんですが、ちょうどですね、今日責任者が、何かふらっと遊びに来て、遊びに来てる訳じゃないですね、本当の細かい最近の状況、普段は全部私答えるんですが、そういう現場感になってくると、はい、じゃあちょっと、ちょっとこっち来てもらっていいですかね。

○スポーツ施設課長

休日の恰好ですみません。よろしくお願いします。陸上競技場なんですけども、今年と来年で設計の方を進めるような形になっています。併せて解体、校舎ですとか体育館とかの解体の設計も今年度進めています。なので、設計が2本同時に進むような形になっています。建設に関しましては、先ほど市長からもありましたけども、今年度と来年度で2か年で設計を行います。解体に関しましては、今年度で解体の設計を終わらせて、来年度解体に着手したいと考えて進めているところです。

●市長

地元の皆さんに対する、何だろう、工事とか計画とかそういうものの看板とかってあるんですか？

○スポーツ施設課長

今のところまだそこに煮詰まったこう何ですかスケジュール感が出ていないので、出す工程というものがないんですけども、設計を進めていく段階で、必ずその工程が出てきますので、そこが見えた時点で、周りの方ですとか、先ほどありましたように、周りに住宅もありますので、安全な工事を進められるような形で、御理解いただくような説明をさせていただきたいなとは思っています。

○参加者 2

一番大切なのは多分、小学校が近いので、子供たちのやっぱ通学関係があるので、そういう日程がもし分かれば、周りの区長さんとか、一応いろいろ連動できるので、我々も全体で見ているので、その辺が一番重要なところかなと思います。

●市長

通学路の、例えば実際の工事のところの細かい、どういうふうに、何時から何時…

○参加者 2

ですからどこの道路を通って、ですよ。どういう路線で工事が始まったりして、何トントラックが敷地にこんな形で入ってくるよみたいなことで、どこから入ってきたりするのかって一番大きいんですよ。

○スポーツ施設課長

はい、今まだ設計を進めていく段階なので、決定はしてないんですけども、導線は、北側から、トラックとかは工事車両は入れるような方向で、私たちの方では考えています。中心部の真ん中にある道路は、これも道路を分断していないで、一体的に設計してますけども、そこは廃道をさせていただこうかなという考えがありますので、子供たちが児童館ですとかに行く道にもなってますので、その辺も設計の中で、安全に渡れるような形で、まずは中の端っこを通して安全に行けるような道を作ろうとか、そういうところを模索しながら設計を進めていこうと思ってます。

○参加者 2

そうですね。私の区会が一番関係が多いので、大宿二、三のあたりがちょうど北の地区の入ってくる道路になっているので、最近人口も増えて若い人たちが増えてますので、特にそういう意見があったりするので、その辺がもう本当にね、分かってく状態で流れていくということをお知らせできればね、一番分かっていただけるというふうに思ってます。

●市長

なんか見通しが立つといいですよ。まだ分かんないんでしょうけど、大体いつ頃、例えば説明会をやったりとかっていうのを、何か出してみてもいいかもしれないですね。

○スポーツ施設課長

わかりました。

○参加者 2

予定でもいいんですよ。

●市長

例えば僕らはね、今年設計とか、体育館の話とか、建設関係知ってますけど、地元の人だって御関心がある方は知っていても、たぶんそうじゃない方は、日程どうなっているんだろうとかっていうのがいろいろあると思うので、とりあえず暫定でざっとスケジュールこんな感じですよと、大体詳細、設計が終わったら地域の皆さん向けの説明会をやって、また御意見伺いますよみたいな、そういうのが見えたらいいかもしれないですよ。

○参加者 2

できたらそういうのが表になってて、回覧版でぱっと流せて、何かあったら答えが出るみたいな感じのものがあれば、今何も答えられないんですよ、質問があってもね。はい、だからその辺ですよ。

○スポーツ施設課長

はい、わかりました。それでは、今進めてるところのスケジュール感ですとか、予定のものをちょっと作成して回せるような形にします。

●市長

それをどういうふうに作るのがいいとか、また相談させてもらって、こうい

う情報が地域としては欲しいっていうのを言っていただければ、それを踏まえて分かりやすく作りたいと思います。

○参加者 2

よろしくお願いします。

○参加者

ごめんなさい今、すみません途中で手を挙げてしまって。結局、これやるのは時期とか今お話あったけど基本設計してどうのして、どう作るってのはもう、今まで公共工事をね、たくさんやってきてるんで、もうやることは分かってるわけじゃないですか。例えば、掲示板みたいなものを 1 ページ作っておいて、工程表置いておいて、日にちは入ってないけど、決まった時点で日にち入れて、市民の人にも意見書き込んでもらって、それで遅れてたら遅れてたし、進んだら進んだし、こんなこと加わったよとか、ここはやっぱできなくなったよとか、道路もこういうふうに考えてたけども、調整した結果こういうふうにしたよと見えてたら、ちょっとした今ある機能のつくスマでも、ホームページの前のホームページの時って最初インターネットの双方向性を使うと思ってコメント欄があったけど、使ってなかったんですよね。だからやっぱり一方的に今の市のホームページも情報発信してるだけなんで、そういう部分もちょっとずつ使っていったら、皆さんだんだんね、IT リテラシーも上がってきたんで分かるかなと。でも、勤務先で、この 4 月から PBX がなくなったんですが、PBX ってあの電話の交換機ですね。なくなって iPhone でクラウドでやるようになったんですよ。御高齢の方で、もうね、事業所で決めちゃったんでもう強制的にそうなっちゃいましたって昨日交換機が入ってたんですけど提供されちゃって。iPhone で Teams っていうやつで内線はかけたり転送したりするんですけど、やっぱり御高齢の人は難しいんですね。使い方を教えてって言われて、その人もスマホ使ってたらしいんですね。でもとりあえずじゃあ Teams は使わないで、その iPhone の電話のアプリで掛ける受けるだけはしましょうねっていう御説明をして、若い人は逆に、そんな使い方もできるんだっていうのも、どんどんね説明もなくポンポンポンやってらっしゃっちゃうんで、またその移行するところで、でもその仕組みもそんなに、最新のことでなくて、やっぱり 30 年くらい前に気象研究所で入札に声かけてもらった時提案しようと思ったんですけど、仕様書がもう違う仕様書で出てきてしまってたんで、ちょっとそれはあれだったんですけど。ただ、社会実装するのに 30 年かかったんだなってすごい思ってた。だからそれは、焦らず急がずで、陸上競技場もいろいろありましたけど、こういう形で整備してもらえることになって、すごくね可能性もあるし、隣の、最初、陸上やってる詳し

い友達が、ここの競技場にサブグラウンドがあったらもっと可能性が広がりますよってアドバイスをくださったんですね。でもないけどよく考えたらもう上郷小学校に立派なグラウンドがあるんですね。だから年1、2回の大会だったら、そこをそういうふうに活用したら、サブグラウンド作らなくてもいいし、むしろ、上郷小学校のグラウンドを整備してちょっと整備してあげることで、日常の彼らの活動にも、質が高い練習というかね、使うことができるようになるって考えると、やっぱり、当然そのやっぱり道路どう整備できるのかなって。だから、都市計画道路が土浦境線でしたっけ…

●市長

ちょっとまとめてもらってもいいですか。

○参加者

とりあえずいい形で情報交換しながらやっていくと、きっと良いものになるんじゃないかなと。お願いします。

●市長

はい、わかりました。すみません、じゃあ参加者2さんに戻します。

○参加者2

道路の関係で言うと、関連でこの間つくバスの話で、西部シャトルの話の説明会があったときに、我々ちょっと祇園祭の100年祭ってのがありまして、ちょっと行けなかったんで、実は個別にちょっと言って話はちょっと聞いて参りました。1つ良いことがあったのは、常総の道の駅と繋ぐよう話のルートを作るという話が、再編の話の中にあったんですね。実はその時ちょっと話したのは、上郷地区の人が、例えば道の駅に行くっていう時に、シャトルが別々に今なっていて、乗り換えのところのバス停がちょっと離れてるという形もあったので、東西交通を繋ぐ時に、多分もっと話し合えばもっともっとできるだろうし、この陸上競技場の兼ね合いがその後出てくると思うんで、将来的に向けた時の話があったんで、その辺も踏まえて、今後の方向をちょっとお話していただきたいです。

●市長

はい、いや、いろいろね、やりたいんですよ。広域でね、もう自治体でやっていくのはこれ必須なんですけれども、我々も本当はもっと直接乗り入れができればいいなと。例えば下妻方面なんかも、本当は下妻駅まで行った方が絶対いいんですけど、ちょっと手前で止まらなくちゃいけないっていう仕様があって、結

局、バスの運転手が足りてない中で、もうぎりぎりの調整をして、何とかここだったらできるというのを関鉄などと調整してやった結果なんですよ。ですので、いろんなところ本当究極的に言えば、もうもっと深いところまでの相互乗り入れができた方が、それぞれの住民にとっては、利便性も高いと思うんですけど、ちょっと残念ながらですね、特にこの2024年の4月、この2ヶ月前に法律が改正されて、残業の規制がめっちゃくちゃ厳しくなっちゃって、もうつくバスも残念ながら、土日なんて33%減便という、私就任以来ずっと増やしてきて、バス停も増やしてきて充実させてきたのを、真逆をやらなくちゃいけないと、もう全国で今本当これ困ってますけど。という状況なので、参加者2さんのおっしゃるとおりなんですよ、おっしゃるとおりなんですよ、ちょっと今のドライバーの現状だとちょっと苦しい。ただ、苦しいと言ってるだけじゃないので、実は先日、国の予算をこれも申請して通ったんですけど、だったらもうちょっと自治体でドライバーを育成する仕組みを作ろうかなと思って、ドライバーバンクというですね、それをつくば市が提案して近所の牛久市と下妻市と土浦市と、私も市長たちに連絡して一緒に申請しようって話をして、もう広域でドライバーを育成しましょうと。ただタクシーの関係なんかもいろいろ今話題になってますけれども、タクシーの運転手も明らかに足りていないので、1種免許でもできる人たちを育てようと。で、できれば2種免許取ってもらおうと、そういう人がだんだんそういうねバスの運転手なんかにもなっていけばいいと。関鉄もこれ一緒に入って、いろんな事業者と連携して、このドライバーバンクというのを作る予算をですね、国から取ることができましたので、もう本当広域で連携して、国もこのもう本当ドライバー不足のモデルになる事業だからというので、かなり期待をしてくれてるので、そういうものをですね、今年チャレンジしてみて、今年制度設計をするんですけど。とにかくこのままいったらもう本当に公共交通は、崩壊、私は崩壊寸前だという言い方をしてるんですけども、そういう状況だと思ってるんで、そういうことができればですね、参加者2さんがおっしゃるような望ましい形というのは作っていけるんじゃないかなと思ってるんで。ちょっと今はですね、できるだけでもそれは当然頭の中に入っていますので、そこを目指して取り組んでいきたいし、今の範囲でも、もうちょっとこうしたらいな、私は本当は下妻駅まではこれは行った方が絶対よかったんじゃないかと思ってるんですが今でも、それでもちょっと厳しいというので、常総もですね、本当は上郷の皆さんが道の駅にぴゅっと行けたほうがいいのかと思うんですけど、ちょっとすいません、そういう状況ですが、おっしゃるとおりだと思ってます。長くなりました。いいですか。

○参加者 3

参加者 2 さんよりはちょっと次元の低い話…

●市長

とんでもないです。次元に高いも低いもないですから。

○参加者 3

私どもの集落はこの学園の森と東光台というような、狭間にある田んぼの地域なんですけども、その田んぼが皆さん、新しくいらっしゃった方々が大変散歩に、その道路を使ってるんですよ、農道をね。私の言いたいのは、雑排水を、生活関連雑排水を、私どもの田んぼの排水路に流し込むような形になっちゃってるんですよ。それは、何軒もないんですが、これは私どももまちづくり、エクスプレスのまちづくりでも、その調整池の方に雑排水を流さないでくださいっていうことは 1 軒 1 軒歩いてお願いしても、何軒か残ってるのがあるんですよ。それと、私どもは畑総合整備事業で、新しい排水路を作った分ですか、その排水路にも、その雑排水は流さないでくださいというようなお願いはした過程があったんですが、大変恥ずかしい話で、その処理ができないで今まで来ちゃってるんですが、この頃子供たちが非常に虫を採ったり、オタマジャクシを採ったり、カエルを採ったりとかすることで、この季節は特に、この陽気ですから多くなってるんですよ。私も地域に住んでますから、私も畑だとか、田んぼだとか見て歩ってるもんですから、そうすると、ここにオタマジャクシが去年はいたんだけど、今年はいなくなっちゃいましたね、とかいろいろ問いかけをされるんですよ。除草剤使ってるのが影響してますよね、くらいのことは言えるんですが、地域の者として、いやここは雑排水が流れ込んでちゃってって言うことは言えないんですよ。それは私どももやり抜いたんですが、いまだかつて、結構あるんです。それを行政の方で広報紙か…

●市長

それは各世帯、基本的にはそれやっちゃいけないはずですけども、勝手にそっちに管を繋いじゃってるって言うことなんですか？

○参加者 3

いや黙認してるって言うことです、行政が。

●市長

黙認、行政黙認…。どういう仕組み、公室長分かる？

○市長公室長

おそらく古い集落はトイレだけ浄化槽に繋いで、お風呂ですとか台所の排水とかを、一旦は止めますけど、オーバーフローしたのは多分…

●市長

オーバーフロー分ということね。今の話は、じゃあその新しい世帯っていう、東光台とか学園じゃなくて、地元の皆さん、(地区名)の世帯が？そっちですね、はい。それは何となくはい、オーバーフロー分がみたいなことは、はい、なるほど。

○参加者 3

だからね、何回も言うように私どもはその努力はしてきたんですけど、できなかったということで、できないまま繋いじゃってて、こういう状況に発展してきて、子供たちがここへ来て、そういう話されると、非常に大人として責任あるなとは感じるんですが。言えないですよ大人から、ここに雑排水が来てることは、ここでカエル採ったり、ドジョウ採ったりしない方がいいよってことは。その辺、広報紙か何かで…

●市長

そうですね、ちょっと回覧とか回してもらおうとかね、そういうあまり特定のあれっていうとあれかもしれないので。ちょっと豊里地区とかで、回覧にやるとか。ただ、結局工事が必要でお金がかかるから皆さんね、やらないってことなんですよね。

○参加者 3

お金がかかるからできないよっていう。だけど何回も言うように、子供たちがかわいそうですよ。大人としてここに雑排水を流してるなんてことは言えないですよ。

●市長

そうですね。分かりました、ちょっとこれはどこになるんだろう…

○市長公室長

おそらく環境の方で、合併浄化槽に本来は、全部合併浄化槽にすべての排水を流すような浄化槽を設置していただくのが一番ベストではあるんですけど…

○参加者 3

それはやってんですよ。合併浄化槽でやってるんですが、その末を側溝へ流されちゃうと、当然処理はしてあるんですけども、側溝の中はもうぬるだらけですから。虫が出るってとこまでいってないですけど、そういうところは新しく来た住民の方には見せたくないんですよ。その辺は行政の方で指導すればできることじゃないかなと思ってるんですけど。

●市長

ちょっとじゃあ確認をしてみますね、どういうことが指導としてそもそもできるかとか、あとどういうことをすればね、その状況が改善するかとか。あとはね、皆さん御自分の負担でやっていただいている話なので、そこに何か補助金を新しく作ると、またそれはそれで難しい気はしますが。ただ、結局皆さんね、お金かかるからやだって言われちゃうと何もできないっていうのがちょっと辛さがあったりしますよね。

○参加者 3

それでできないんですよ。それはね、広報紙でやってもらえれば、認識が変わってくるかなと。

●市長

ちょっと環境部門とよく話をしてみて、どういう対策が可能か、ちょっと考えてみますので、はい、ありがとうございます。

○参加者 3

ありがとうございます。よろしくお願いします。

●市長

(地区名)の集落内ということですね、基本はね。

○参加者 3

いや、(地区名)集落ばかりじゃないです。

●市長

いろんなところで。

○参加者 3

ただ私の場合、流末になってるんです。（地区名）から新しい学校の方へ流れていく、（地区名）の方へ。

●市長

はい、なるほど。分かりました、ちょっとよく調べた上で、また考えてみたいと思います。ありがとうございます。そうですね、子供たちがね、何かあってもね。

○参加者 4

なんかちょっと簡潔にって言われてちょっと…

●市長

簡潔じゃなくても大丈夫です。さっきちょっと長い方がいらっしゃったので、全然簡潔じゃなくても大丈夫です。

○参加者 4

ただ悶々と自分の中でしていることがあって、それは子供たちが登校する通学路のことなんです。なんかもうこういうふうにもいろいろこう、パネルでいろいろ紹介されてるのを見ると、やっぱりそれはもう後から人口が増加して増えてできた街っていうので、元からあるところの道路というのが、子供たちが通学するのを見た時に、縁石もちょっとない場所もあって、そうすると普段は交通量は少ないんですけども、通勤時間帯とか、朝の通勤時間帯とか、すごく混むんですね。その時に皆さんすごく気を遣って運転されてるなっていう印象は私すごくするんです。ちょっと2車線っていうか、1車線ずつの道路なんですけども、子供たちが歩いて来ると、絶対そこを通ったらば、すごく子供たちがものすごく危険なので、割とセンターラインをオーバーしながら通るんですね。こっちから反対側からも車が来るので、そうするとまたそこはスピードを緩めて、割と上手く、なんつうかほとんどの方は、もう90%、99%以上くらいの方は気をつけて、子供たちを守ろうという感じの運転なんです。でも、中にたまにスピードがこうビュンって来る方もいて、ちょっと危ないなっていうのを感じるものがあって。かと言って私はそれによってね、先ほど市長がともに創るまちづくりっていうのを聞いた時に、私は一体何をしてるんだろうと思いながら、ただ現状だけを見て、ちょっと心配だなと思うだけなんです。はい、以上です。

●市長

ありがとうございます。いや、通学路はですね、確かに毎年通学路の点検というのはやっていて、学校から危険箇所というのを全部挙げてもらって、3ヶ所とか5ヶ所とか。そこは基本対応を順次するようにしてますし、そもそも私20年ぐらい前に市議会議員やった頃に、そういう提案をして、みんなで歩いてですね、各学校からの要望を受けたというところから始まってんですけど。場所によって、例えば、いわゆるそういう縁石を置けない幅のところとかですね、いろいろあるんですね細かい、そういうの全部警察と調整してるんですけど、もし、ちょっとよろしければ、その具体的な場所を教えていただけたら、多分もうそういう危険な箇所は、何らかやろうとしてできなかった結果なんだとは思いますが。今やってるのは例えばもうせめてペイントをすとか、要するに、それでドライバーの認識を持ってもらおうと。あるいは置けないところも多いんですけど、ポールをせめて立てるとか、本当に危ないところは。そういうことをやるんですが、それも道路の幅がある程度ないと、すれ違えるだけの幅がないと、立てられないとかいろんな細かい話があるので、もしよろしければ、ここっというのを教えていただけると、まず見に行ってくださいね、ひょっとしたらもう検討済みかもしれませんけれども、どんなことが可能かというのを考えて、本当の最後の最後はもう道路構造がどうにもならなかったら、ちょっと地域の皆さんにですね、立哨みたいなのをさせていただくみたいなことも。そういうふうにして実は桜ニュータウンなんてエリアは、警察の許可をもらってその通行時間だけ、住民が管理するという前提のもとで、警察の許可を取って、時間で30分ぐらいかな、通行止めにしてる場所なんかもあるんですね。そういうことも、ひょっとしたらともに創る1つかもしれないなと思いますけど、あんまりそんな御負担をかけたり義務感になってもいけないと思いますけども。ちょっと後でよろしければ、ここっというのを職員にお伝えいただければ、現地確認に行きますので。でも心配ですよ、本当に。

○参加者4

私を感じてるっていうことは、他にもね、今まで感じている人もいると思うので、検討されてることなのかなと思います。

●市長

いやでも何とかね、それで、結局何か本当に大きな事故があって、何かしたら急に予算が何億円もついてみたいの話が日本社会の姿なんですけど、それではやっぱりいけないので、とにかく私はできるだけ、とにかくできる対応はやろうと。確かに急に道路をね、ものすごい広げるなんていうのは現実的じゃないに

しても、ドライバーの意識を変えてもらう取組もそうだし、少なくとも認知をしてもらえるようなガードレールが置けない幅のところがほとんどですから、このあたりの道路は。だからそうじゃない形で、何ができるかを考えるというスタンスでやっていますので、ちょっとぜひ場所を教えていただければと思います。ありがとうございます、御心配いただいて。本当にね、事故は心配ですよ。

○参加者 5

よろしくお願いします。私、北条なので筑波山が麓ってことで、非常に土日、たくさんの観光客が来られるんですけども、この北条の筑波山の麓辺りに何か大きく、来た方がお土産だったり、何か地域の物産だったり買えるような場所が、できたら嬉しいなと思うと同時に、私も筑波山のところが国立公園なので、非常に道も狭くて渋滞渋滞で、なかなか厳しく、あと山頂も非常に早め早めにお店が閉まってしまったりするので、そこを何とか、つくば市として将来的に、いろいろ考えてると思うんですけども、ぜひ意見を聞かせていただけたらなと思います。

●市長

はい、ありがとうございます。観光ですね、何て言うんでしょうね、ちゃんとどう形にしていくかというのはやっぱりつくばの結構大きな課題で、筑波山のことよく御存知だと思いますけど、なかなかですね、お土産物屋さんの今の状況とかも、必ずしも外から来た方が喜ぶ状況になってない中で、つくば市でもいろんなおもてなしのセミナーをやったりして、まあ一番来て欲しい皆さんが来てくれないのでそのセミナーに、なかなか上手いかないんですが。1つには、大きな1つの拠点を作ることもそうですけど、まずこの廃校跡地を活用をして、ゲートパークは、先週も行ったら、本当にちょっとびっくりするぐらい遠くからですね、愛知とかそっちの方からこのために来てなんていう方がいらっしゃってですね、大会をやれば当然それなりの人が来るので、このエリア近くに、何らかのものはあっていいんだろうなと思ってます。それは、一般的には道の駅と呼ばれるものですけども、庁内でも道の駅の検討の調査というのはしています。で、今年予算で道の駅の検討調査の予算を取りました。どういう場所に、どういうものであれば可能性があるだろうかと。で、どういうスタイルのものがいいだろうかと、物販中心なのか、もう少し体験も入れるのか、日常使いにするのか、観光客向けに振るのかみたいなことを、今年調査予算を使って調査をして、作っていききたいなと思ってます。で、全部御存知のように、旧筑波地区の学校跡地ですけど、こういうものを上手く繋ぐようなストーリーがまたできればいいん

じゃないかなと思っています。山頂もですね、困った状況で、当然厳しいわけですよね。これもなかなかもう続けられないよというようなお話をいろいろいただいていますので、地元の議員さんなんかにもいろいろ御意見いただきながら、今、市としてどこまでやろうかねという相談をしているところです。やっぱり、それがね、要するに、あそこもちょっと不思議な仕組みなので、山頂の土産物屋さんの仕組みも、いろいろ既得権がある話ですけども。それがこう上手い形に譲ればいいですけど、何かねちょっとおかしいところに譲られちゃったりすると、もう本当に危ない状況ですので、そういうことがないようにしなくちゃいけないなという相談をしているところですので、上もですね山麓も両方もう少してこ入れをしていきたいなと思っていますところですし、今、これだけやっていますので、道路の問題なんかも併せて、ゲートパークの周りは、今道路工事を今年もしていきますけれども、アクセス道も含めてしっかり整備すると同時に、なかなかうちだけではできないところもあるので、県道の整備なんかは、また県にいろいろお願いをしながら、今進めていっているところですね。ぜひ地元を盛り上げるためにですね、いろいろ御提案いただければありがたいなと思っていますので、よろしくお願いします。

○参加者 5

ありがとうございます。

●市長

よろしいでしょうか、お答えになっているでしょうか。

○参加者 5

はい、大丈夫です。

○参加者 2

今の観光に絡んだ話です。今上郷地区の方に、周辺を活性化する意味で観光ツアー的なものが、話がボンボン私のところにも来てます。実は先日デモツアーというのがありまして、TXとつくばバスを利用して、上郷地区に観光に来るというデモツアーがありました。実際に、まずは万博記念公園から、つくばスの西部シャトルに乗って、金村別雷神社前で降りて、まず神社の方に行くと。すると、そのバス停がですね、神社から15分以上かかるところにあって分かりにくいんですね。そのデモツアーをやった方が後で言われたのは、もうちょっと近くまでいけるといいなと。実は神社の駐車場がちょうど半分ぐらいのところに、要す

るに神社とバス停から半分ぐらいのところに駐車場あるんですけども、そこまでバスがすすって行くとすごく分かりやすいというのはあって、もしあれだったらバスの路線、ほんの一部ですけど、回り道っていう感じでもないんですけど、1分以内のところなので、そういうツアーも、バスがこうできたらもっとできるかなということをちょっと今、路線ですね、簡単に言っちゃおうと。

●市長

いや、ちょっと実はそういう話があったということで確認してもらったんですけど、ちょっと道が狭くて入れないみたいなんですよ、バスね。

○参加者 2

そうですか？

●市長

通れなくもない？一応確認はしてもらったら、ちょっと道これでは、いやバスって、いや通れるじゃんみたいな感じでいっても、やっぱりいろんな基準があってなかなか通れなかったりするみたいなんですよ。でもおっしゃるとおりでね、そういう周遊ツアーみたいな増やしたいなと思っているので、もうちょっと何か工夫できないのか、改めて私からも聞いてみますので。

○参加者 2

そうですね。結局、雷神があるところから、川口公園までの路線で、すごくウォーキングなりサイクリングなり、ものすごく増えてきてますんで、先ほど言った川口公園の整備もさることながら、一緒に考えられる。筑波山地域ジオパーク及び上郷ジオサイトという形でかなり、上郷の中の神社も含めていろんなところでツアーが組まれてきてるので、ぜひそれがもっともってできればいいなと。そうするとバスの路線の関係もありますので、ぜひ総合トータルでちょっと観光的なものも、もちろん今後東西交通の話も出てきますけども、一緒に合わせて考えられればいいなというふうに思ってます。

●市長

まさに今のね、お話にもありましたけど、とにかく何て言うんだらう、1か所に集中させるのではなくて全域を周遊させるようなアプローチをしたいと思っていて、もうすぐ多分発表、発表というかも発表はされてて、冊子ができると思うんですけど、そのつくばの一応モデルコースみたいなのも、観光のコースも作っていて、何か6月ぐらいに何か冊子ができるのか言ってた気がしたんだけ

どな。それも公共交通だけで回れるコースとかも作ったり、1個だけかな、やっぱり車になっちゃってるんですけど、自転車のコースも1個作ったりみたいなことをやって、その地元でツアーを組んでくれてる、すごくセンスのいい皆さんにお願いしたんですけど。自転車に、例えばロードに乗る人だったら、その北条からね、上郷行くのとかもう何でもなし話なわけですよ。僕今日はロードじゃないので、もうちょっと別の自転車なんですけど。それでも自宅から北条に、いやここに来て、今日はこの後、大穂の子供食堂、みんなの食堂に行って、そのあと桜地区のタウンミーティングに移動するんですけど、それぐらいの距離だったら全然できちゃったりするので。広くエリアで魅力をやっぱり知ってもらって移動してもらうようなことをしたいなと思ってますし、この間吉沼マルシェというのを周辺市街地でやっていたんですが、そこには、桜地区にある自転車ショップのお店の皆さんがツアーで来てくれたりしたんで。ああいう、R 8の中の繋がりとかジオでの繋がりみたいなのが面で作りたいですよ。ぜひ各地区連携して進めていければと思います。よろしくお願いします。ちょっとバスのその道のことはもう1回、僕もちょっと担当に直接じゃなくて、職員経由で聞いたので確認はしてみます。

○参加者 2

もう1ついいですか。

●市長

どうぞ。

○参加者 2

文化芸術拠点の文化の話なんですけども、例えば今上郷地区には、田倉の三匹獅子ってのが復活してありますと。例えば小田にも大獅子があったりする。そういう文化のものを、要はR 8の中で必ず拠点にそういうものがあるだろうと。それはお神輿でも同じです。そういうものを集めながら、1つのトータルのR 8の中での文化祭みたいな形をぜひやってもらえるようにお願いしたいなと思ってます。

●市長

それはもう皆さん主導でどんどんやってもらったらいいんじゃないですかね。何か、この間センター地区でやってたの僕行けなかったんですけど、どうでした？まさにそういう趣旨の、上郷が出張っていくみたいな感じでしたよね？

○参加者 2

あれですね。あれはあくまでも、まだ上郷だけの…

●市長

上郷だけでね。

○参加者 2

センターに持って行っただけなので、あれを例えば分かんないですけど、研究学園の南公園あたりに集めちゃうっていう手もあるんですよ。

●市長

あれ、去年のアイディアソンで選ばれていたのは、確かそういう趣旨で、R 8の各地区の魅力を一堂に集めたフェスをやるみたいな話をしてたんだけど、あれ、駄目だった？どうなったんだっけ？顛末が…

○参加者 2

実現してないですよ。

●市長

実現してないですよ、あれでも…

○参加者 2

要は集まって打合せやってないんですもん。

●市長

あのチーム、なんか張り切ったけど駄目だったんだ。まあ、そういうこともあるんですよ、まちづくりには。ちょっと、でもまさにそれは去年アイディアソンで出たアイディアですし、何か、もうそうなってくるともう皆さんでどんどんやってもらって、繋がりを生んでもらう方がいいんじゃないかなと思ってはいるんですよ。だから、ちょっとあれどうなったのって聞いてみます。確認してみます。誰か分かる人いないかな…はい、そうですね、R 8でね、R 8フェスみたいなね、やれるといいですよ。

●市長

今日の感想とかでもいいんですけどね。今日の感想、あるいは最近の話題、最

近の話題…。あれ、去年家事の話とか質問してくれたのは、そうでしたっけ、違いましたっけ？

○参加者1
違います。

●市長
また違いますね、はい。

○木村市議
放火事件が多くて…火事の話って市長からのお話があったので…

●市長
ごめん、そっちの話じゃないんだ、ちょっと違う…

○木村市議
放火事件がたくさん上郷で発生してて、犯人逮捕されたんですけれども、また強盗、押し込み強盗もあったりってことで、防犯カメラの設置を予算昨年度、5台の予算しかなかったのを、13台ですごく多く、市長の方でいろいろと取っていただいて、上郷地区とか吉沼地区とか、防犯カメラ設置していただいたっていうことはありました。

●市長
防犯はですね、本当にね、防犯カメラの設置も、これ区会の皆さんから今いろいろ御相談を多く受け始めているので、もう予算としては用意してあるのでぜひですね、使っていただければなと思っています。あとこの犯罪があった場所、「いばらきポリス」というのでですね、分かるようになってはいますけれども。放火とかはやっぱちょっとね、エリアによっても、この間もちょっとある地区でいろいろ話があったんですが、分かっているんだけど現行犯じゃないと抑えられないというような話があったりして、難しい部分もあるようです。警察も一生懸命やってはくれているので、ちょっと連携しながらね、やっていきたいなと思っていますけどね。

●市長
ゆかりの森は本当にいい場所だと思いますよねえ。ここでもいろいろなことができるといいなと思っていて、今スクリーンに出てますが、本当に素晴らし

い森が広がってるわけですよここに。かなりその周遊路の整備とかをして、良くなってきて、今遊具の更新も順次進めてるんですけど。安すぎるっていうか、すごい金額でキャンプもできるし、別にだからってここでそんな小銭稼ごうとは思ってないんですけど。そういう場所とか、やっぱり豊里にもあるし、いろんな場所にあるので、こういうところをね、良い拠点にしていきたいなと思ってますけどね。いや穏やかでいいですね。はい。何かございますか、大丈夫ですか。まだ発言されてない方とか。特になければ全然いいんですけど。そうですね、後は最近の話題はですね、ここで紹介していない政策でいうと、たくさんあるんですけどね、結構企業の皆さんに関心を持っていただいているのは、男性の育児休業の取得金っていうのを、去年用意を新しくしたんですけど。それは、何かということです、やっぱり今はもう若い人は働く時にですね、給料はもちろんなんですけど、今どっちかっていうと売り手市場なので、給料だけじゃ人が来てくれない状況になってしまってるわけですよ。福利厚生がどうなってるかというのをすごい気にする中で、男性の育児休業が取れるかどうかみたいな、社風としてあるかみたいなところが、企業の選択肢としてすごく大きくなってきているというので。でも、取る側はやっぱりすごい遠慮するわけですよ、会社に迷惑かかるみたいな話。だから、つくば市で最大 40 万円の補助をですね、そこに会社に出すと、取った人じゃなくて。会社に出して、しかも代わりの社員雇ったらその半額も出すよみたいな仕組みを作って、早速使われ始めてるんですけども。やっぱり、他の会社と競っていくのはそういう条件にどんどんなっているという世界で、中小企業だからそんなの無理とか言ってる場合でもなくなっているっていうのはあるんですよ。男性が育休を取ると、3年後の女性のフルタイム就労率が上がるとかですね、2人目の出産の割合が上がるとかいろんなデータがあってですね、それから男性の家事分担率が圧倒的に上がるとか、男性の育休にはもうこれ良いことしかないというか、それが今のいろんな社会課題を解決するきっかけにもなると思っていて、そういうまちにしていきたいなというのも思っていますし。私自身も今、今度妻が単身赴任中なので、平日はですね、週末だけ帰って来るんですけど。もともと食事は全部作ってましたけれども、今他のことも含めてですね、いろいろやってるので、まあまあ大変ですけど、でもそういうふうにして、男性も女性も仕事もするし、家事もする、だから今日、妻が食事は、週末は作ってくれますけど。というようなことで、ヒイヒイ言いながらも楽しくやっていますが、そんなふうには何かこう、やっぱり女性が仕事をしやすくする環境を作っていないと、もうどうにもならんだろうなこの国というのはすごく思ってますし、相変わらずジェンダーギャップ指数っていうのをこの間ね、世界経済フォーラムで発表してましたけど、日本ちょっと上がったとか言っていましたけども、本当になんかしょうがないわけですよそんなんじゃ、このままだと

この国はもう前に進んでいけないなと思っていますので、そういうこともどんどんやっていきたいなと思っています。などなど、そんなところですかね、何かじゃあ最後に今日の感想を若い方からいただいて。

○参加者 1

先ほどの家事の質問、私去年やっぱりベストファーザー賞の御質問をしました。

●市長

そうだね、そうでしたよね。そうそうそう、家事と仕事どうしてるんだろうみたいな質問、なんか言われたような気がしていて、はい。

○参加者 1

今年も、何だろう、市長とお話できて楽しかったです。市長の広報紙とかインタビューを聞いてると、対話っていう言葉がすごく出てきて、何か毎年こうやって対話を大切にして、その市民と直接話して繋げていってる姿勢が、私はいつも共感します。ありがとうございます。

●市長

はい、ありがとうございます。はい、そうなんです、対話しないと分かんないんですよ。で、やっぱりこの仕事もう8年目になってるので、大体のことは知っているんですけど、今日もね、生活排水の話なんか、もちろんオーバーフローしてるっていうような話が漏れ聞こえてくることはありましたけど、現場でこうやって話を聞くのと、何となく市長へのメールとかで読むのとでは、やっぱり全然、やっぱりちょっと温度感が違うんですよ。こうやってまた参加者2さんに圧をかけられたりすると、ああやんなくちゃなとかって思ったりするわけですし。やっぱり大事なんです、こういうリアルなね、対話はね。本当にここで、いろいろ提案あったものが、何だろうな、不育症の助成費用なんかも、まさにこの場所で言われたから作りましたし、地域の交流センターじゃなくて地区が持つ集会所のWi-Fiの補助金なんかも、ここで提案されて作りましたし、もうなんか、幾つもあるんですよ、そういうのがね。だから、そういうことも含めて、これからもこういう場所を大事にしたいと思っています。はい、ありがとうございます。